県立平塚工科高等学校長

令和２年度　学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①科学技術教育に関する感性を醸成させ、幅広い教養・技能・技術を身に付けさせる。 ②生徒一人ひとりに見合った指導を工夫し、基礎学力の定着と学力向上を図る。	①各系の連携を深め、生徒の関心・意欲を高める事業を拡充して資格取得を促進する。 ②G suite 等を積極的に活用して、学習習慣の定着の充実を図る。	①大学との連携により、上級学校の授業を体験することで、科学技術教育に関する感性を醸成させる。 各系の連携を強化し、資格取得の促進を図る。 ②日ごろの授業の課題等を作成する G suite の研修・活用を行い、生徒の家庭学習を促す。	①大学進学者希望者のニーズに対応できているかを、報告書から理解度を確認する。 生徒の資格取得率増加状況。 ②G suite 等の研修会の実施状況。また、生徒が活用して課題等を提出し学習習慣の定着が図れたか。
2	（幼児・児童・） 生徒指導・支援	①基本的な生活習慣や社会の行動規範等の一般常識を持った人材を育成する。 ②教育相談体制を充実させ、生徒一人ひとりの個に応じた支援体制を構築する。 ③部活動や委員会活動を活性化させ、責任感やコミュニケーション能力などの人間性を育む。	①きめ細かな指導による挨拶の励行や交通マナーの向上を図る。 ②効果的な支援が行えるよう組織的な相談体制の充実を図る。 ③部活動入部率の向上を図り、学校行事と合わせ、活気ある学校づくりを進める。	①定期的な集会や校内外巡視指導などを通じて挨拶を励行し、交通マナーの指導を図る。 ②教育相談コーディネーターを中心とした相談体制の整備。外部機関との連携によって課題に対応できる体制の構築。 ③部活動オリエンテーション等を通し、部活動への関心を高める。各委員会と学校行事の関連をより強めた活動をする。	① 挨拶をする生徒が増加したか。交通事故の件数や苦情の件数の減少状況。 ②多様な生徒に対して効果的な支援を行うことができたか。（教育相談やケース会議の実施状況） ③部活動の加入率は前年度より向上したか。 委員会活動の実施回数と内容の状況。
3	進路指導・支援	①生徒が主体的に進路決定に向き合えるように入学時から段階的に進路指導の充実を図る。 ②上級学校への進学を見据えたキャリア教育を	①学校生活の様々な機会を利用した進路教育の実践 ②外部機関との連携や雇用状況を見極めながら	①基礎的・応用的能力育成を目指し、進路指導教育の充実を目指す。 インターンシップ推進チームとして、インターンシップの受入先と参加生徒を拡充に向けた取組を推進する。 ②地元企業やハローワーク等との連携を深め情操教育	①基礎力診断テストの結果から基礎力・応用力の充実は進んだか。 受入先と参加生徒数を拡充することができたか。 ②ハローワークや地元企業との連携は進んだ

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
		実践する。	よりきめの細かい進路指導を行う。	に努める。 進学希望者へのサポート体制を整える。	か。 進学者への適切なアドバイスができたか。
４	地域等との協働	①工業系専門高校として、ものづくり体験教室を始め、文化祭、学校へ行こう週間等での地域への公開で開かれた学校づくりを進める。 ②保護者や地域社会との協働により開かれた学校づくりをめざす。	①小・中学生のニーズに合わせ体験活動を魅力あるものにする。 ②ＰＴＡや地域と連携を通して、教育活動の推進に取り組むとともに、情報発信する。	①近隣の小・中学生に向けて、実習等の体験授業を実施する。 ②ＰＴＡや地域の方と連携した取り組みの実施とその情報発信。	①体験型授業を実施できたか。また授業を体験した小・中学生の意見・感想は好意的か ②連携した事業の実施状況およびそれを踏まえた地域連携部会等の意見。
５	学校管理 学校運営	①職員の働き方改革を推進し、活気に満ちた職場環境を創造する。 ②防災意識を高め、防災力を上げる。地域の防災拠点としての充実を図る。	①業務へのＩＣＴの積極的な導入を進め、働き方の改革を推進する。 ②防災教育を教育課程の一環として定着させ、地域とも連携した防災力を向上させる。	①コミュニケーションツールを導入し学年やグループ等の業務に利用する。 ②平塚市災害対策課の協力を得て、防災講演会および訓練体験やＤＩＧ（災害図上訓練）の実施。	①コミュニケーションツールの利用人数・グループ数。また、それによる業務改善状況。 ②防災訓練の実施状況はどうだったか。また、訓練および講演会への参加状況。